

2008 年度 小委員会活動成果報告

(2009 年 4 月 19 日作成)

小委員会名	計画技術小委員会		主 査 名：門内輝行 就任年月：2008 年 4 月
所属本委員会 (所属運営委員会)	建築計画委員会 (設計計画運営委員会)		委員長名：布野修司 主 査 名：宇野 求
設 置 期 間	2008 年 4 月 ~ 2010 年 3 月		
設 置 目 的 各年度活動計画 (箇条書き)	<p>工業社会から知識社会への転換期を迎え、建築のあり方に大きな変化が生じている。その中で、環境共生、都市再生、ユニバーサルデザイン等の新しいニーズに対応した設計計画の実践、建築家資格への対応・高度な実務教育の推進などに対する要請が高まっている。そこで、次の課題に取り組む。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 建築計画の学理体系、設計計画の方法・知識を整備する(2008 年度)。 2. 建築をとりまく社会制度(建築士法、建築基準法・都市計画法など)と建築計画の教育研究のあり方について提言する(2009 年度)。 3. 研究と実践をリンクする様々な仕組み(場・知識ベースなど)を探求する(2008 ~ 2009 年度)。 		
委員構成 (委員名(所属))	委員公募の有無：無		
	主査：門内輝行(京都大学) 幹事：岸本達也(慶應義塾大学) 委員：大月敏雄(東京大学), 大野隆造(東京工業大学), 岡部明子(千葉大学), 岡本和彦(東京大学), 加藤彰一(三重大学), 郷田桃代(東京電機大学), 近角真一(集工舎建築都市デザイン研究所), 千葉政継(宮城大学), 千葉 学(東京大学), 野口秀世(久米設計), 吉村英祐(大阪工業大学)		
設置 WG (WG 名：目的)	なし。		
2008 年度予算	195,000 円	ホームページ公開の有無：無 委員会 HP アドレス：	

項 目	自己評価
委員会開催数	3 回(年度内計画を含む)
刊行物 (シンポジウム資料等は 除く)	
講習会	
催し物 (シンポジウム・セミナー・研究会・見学会等)	
大会研究集会	
対外的意見表明・パブリックコメント等	
目標の達成度 (当初の活動計画と得られた成果との関係)	<ol style="list-style-type: none"> 1. 社会的状況における建築のあり方、建築計画の諸領域や周辺領域との関連をふまえて、生活の豊かさを追求する知識社会に対応した建築計画の学理体系、設計計画の方法・知識の整備方法を検討した。 2. 建築学会受賞作品の計画・設計プロセス、建築プログラミングのプロセスについて、委員から実践的な設計・計画の実践について報告をしていただき、研究と実践をリンクする様々な仕組みについて探求した。
委員会活動の問題点・課題	<ol style="list-style-type: none"> 1. 2008 年度は諸般の事情で委員会の開催回数が少なかった。 2. 2009 年度は、公開のシンポジウム/研究会を開催すると共に、小委員会の HP を公開し、社会的メッセージを発信する予定である。

* 小委員会活動成果報告書は本書式を基本とする。ただし、それぞれの本委員会において活動実績を報告する共通項目があれば、最下段に項目を追加して記述してもよい。